

# 常盤中学校コミュニティスクールだより

## No. 3

令和5年度の第3回学校運営協議会が、2月20日（火）9時30分から常盤中学校の第1会議室にて行われました。第1回目と同様に常盤小、常盤北小と3校合同で、今年度の振り返りと令和6年度にむけての学校運営等に関する基本的な方針についての仮承認を行いました。

### 《 参加者 》

＜学校運営協議会委員＞

会長 栗原 勝義

副会長 佐藤 好子

委員 志水 正 財部 幸樹 柴崎 八重 佐藤 マミ 近藤 一幸

大庭 裕信 菊地 耕太郎 作間 由美子 斎藤 光人 佐藤 好子

山本 夕紀 輿石 純美

＜常盤中＞

吉田 賀一（学校地域連携コーディネーター） 長井 紀之（教頭）

正田 真由美（教頭） 鳥居 孝輔（教務主任）

### 学校運営協議会の様子

はじめに学校の運営状況についての評価（学校評価より）について、教務主任より報告した。その後、令和5年度学校運営等に関する評価（学校自己評価システムシートより）について報告し、委員より各項目の評価をいただいた。次に令和6年度学校運営に関する基本的な方針について、「学校自己評価システムシート（案）」と「学校ランドデザイン」について教頭より報告した。内容について質疑応答を行ったが、特に意見はなかった。その後、全委員より仮承認を受けた。

さらに本年度の振り返りと次年度の見通しについて、「本年度の良かった点、良くなかった点を振り返り、次年度の1回目までの間に取り組めること」をテーマに熟議を行い、各グループで話し合ったことについて発表した。

熟議全体の意見や感想として、以下の3点があがった。

- ① 短い時間だったがグループで話し合えたのは、よかった。
- ② 小学校との連携については、今後とも積極的に進めていってほしい。
- ③ 次回の学校運営協議会までに、今回出た意見等を含め、地域、家庭、学校それぞれの立場で取組を進めていく。

その後、全体を通して、意見の申出について図ったが特に意見は出なかった。

### 各グループの意見

#### グループ1

- 家庭**：・親子で話せる時間をとる  
・話題を持つ  
・各家庭への発信（PTAから）

**学校**：・具体的な話題を示す

- 地域**：・公民館の活用（登校前の時間など）  
「こどもまん中公民館」  
話題にもなる、人が集まる、世代をこえる



## グループ2

**家庭**：・あいさつを継続

- ・大人から発信
- ・食事を一緒にする

**学校**：・学校から保護者によびかけたい

**地域**：・言える発信をしていく

- ・あいさつ プラス ひと言、増やしたい

※来年度の目標：「おかえり」、「ありがとう」を増やしたい



## グループ3

**家庭**：親子で統一の“テーマ”を持ち、会話の機会を持つ

学んでいる内容が把握できるように、  
宿題等（国語のスイミー）を通して  
会話する

**学校**：小中の連携の継続

**地域**：公民館、銀行等とコラボレーションの機会を持つ



## 本日のまとめ

副会長より、学校評価アンケートより、開かれた学校についての項目の説明もあったが、思春期を迎える子どもは、親と小学生のようなさわやかなあいさつが難しいのではという意見もあった。また、学習については家庭で80%しか話をしていないという結果であったが、子どもたちも難しいのかもしれない。

学校自己評価システムシートの「安心・安全に関する取組」の項目で生徒の登下校中の怪我が昨年度4件、今年度3件の自転車事故があったと報告を受けたが、まずは大人の自転車の乗り方も地域でも注意していかなくてはならないという意見も出ました。

4月からスクールダッシュボードが始まる説明があったが、一人一台タブレットを使用して入力することで生徒の情報はわかりやすいが反映されるまでに時間がかかるので、教員が直接生徒を見ることも大切だとも伺いました。

今回の熟議は、学校では小・中合同あいさつ運動を継続する、家庭では具体的なテーマをもとに会話をする、地域では公民館等の作品展、イベントを通して世代を超えた関わりが持てて深まるなどが意見としてあがりました。今後も、それぞれの立場で実践していけたらと思います。

